



# 西荻窪駅周辺まちづくり懇談会 テーマ部会(第3回)

令和2年1月26日(日)

14:00~16:00

『暮らしやすいまちづくり』

桃井第三小学校 東校舎2階 多目的室「桃の花」

杉並区 都市整備部 市街地整備課 拠点整備係

# ● 本日の次第 ●

## 1. 開 会

(1) 挨拶

(2) 担当者紹介

## 2. 前回までの整理

## 3. 懇 談

懇談1：テーマごとの取組み内容の確認

懇談2：部会としての取組み整理

## 4. とりまとめ内容の確認

## 5. 次回の予定

## 6. 閉 会

# 1. 開 会

杉並区 都市整備部

拠点整備担当課長 清水 泰弘

## (2)担当者紹介

### 【杉並区】

都市整備部 拠点整備担当課長 清水 泰弘  
都市整備部 市街地整備課 拠点整備係  
樋口 純 (司会)  
岡田 夏稀

### 【受託事業者:ランドブレイン株式会社】

谷口 眞志 (総合進行)  
石村 壽浩 (懇談サポート)  
山田 浩二 (懇談サポート)  
川島 弘明 (懇談サポート)  
佐久間 涼 (懇談サポート・記録)

## 2. 前回までの整理と本日の目的

# これまでの検討経緯

## 【まちづくり懇談会】

- 全員参加の懇談会で、部会での検討、部会のテーマを決定

付加価値を生むまちづくり

暮らしやすいまちづくり

安心・安全なまちづくり



## 【第1回テーマ部会】

- 各部会での検討テーマを設定し、テーマごとの取組み内容について意見交換



## 【第2回テーマ部会】

- 第1回テーマ部会で出された意見を踏まえ、テーマごとの取組み内容について意見交換し整理（参考資料-1）

# 本日の懇談の目的

## 第2回テーマ部会での班別の検討結果を踏まえ、

## 部会としてのまちづくり方針を整理！

〔とりまとめイメージ(参考資料-2)〕

### 暮らしやすいまちづくり部会の整理

まちづくりの目標	取組みの方向性	具体的な取組み内容	取組み内容
暮らしやすいまちづくり	今の暮らしやすさの維持・充実	(1)暮らしを支えるインフラの維持・整備 ①(例) 道路の整備 ②(例) 防災拠点化、複合化 (2)歩行者の安全性確保 ①歩行者の安全を守るため、自転車のスピード抑制 (3)商店や街並みの保全 ①(例) 建物のルールづくり ②(例) 緑の保全 (4)民間との協力的体制づくり ①(例) 観光資源化	無電柱化やバリアフリーなどの道路整備、駅前駐車場の整備、児童館や図書館などの既存の公共施設等の機能更新や充実に回り、暮らしやすい街の形成を促進します。 自動車及び自転車の運転マナーの向上や歩行者が歩きやすい道路環境をつります。 古い良き街並みを保全するためのルールづくりを検討します。 来訪者が街並み散策を楽しめるように地域資源の整理や情報発信等を行います。
	コミュニティによる安心づくり	(1)誰もが安心して過ごせるまちづくり ①座れる場づくり ②段差の少ないまち ③交通 (2)みどり豊かな良好な住環境の保全・育成 ①軸となるみどり ②にぎわいとしてのみどり ③まちなかのみどり (3)地域住民のコミュニティ促進 ①くつろげる場づくり ②情報発信・共有	誰もが安心して過ごせるまちの観点から、歩行空間のバリアフリー化や誰もが座れるベンチの設置に取り組みます。 みどり豊かで良好な住環境を保全・育成するため、軸のみどりとなる街路樹の設置、にぎわいのみどりとしての公園の整備、壁面・接道部の緑化などによるまちなかみどりの育成に取組みます。 まちなかに交流空間を設けることで、地域住民が顔を合わせる機会を増やします。
	空き家(室)・空き店舗の活用	(1)情報を集約するプラットフォームづくり ①ロコミ ②『まちかど掲示板』の設置 (2)空間(部屋、建物、土地)の有効活用 ①マルシェ ②まちかど休憩所 ③NPOなどの活動拠点 ④シェアオフィス ⑤子育て世代など多世代を対象とした多目的スペース ⑥留学生向け下宿	空き家、空地、空き店舗を有効に活用するための情報提供・共有を行うプラットフォームづくり(SNSの活用、街かど掲示板の設置など)を促進します。 駅周辺の空間、空いている店舗等を活用しながら、人が集まる拠点を創出し、まちのにぎわいづくりを進めます。 ※ まちなか菜園としての活用 → 「空き地の活用」へ
	空地・空きスペースの活用	(1)まちなかの小さな菜園づくり ①空きスペースの活用 ②街なか菜園としての活用 (2)ゆるやかなコミュニティづくり ①(例) 参加意識の醸成 (3)シビックエコノミー ①(例) シビックエコノミーの取組み	まちなかにおいて使われていない空き家の庭や道路沿いの空きスペースなどを活用して、空きスペースを借用し野菜や果物などを育てたい人を募ることで、まちなかの小さな菜園としての活用を図ります。 “まちなかの小さな菜園”を通じて、子どもたちの農業体験や教え・教えられる関係を通じた交流づくりなどにより、地域でお互いを知る“ゆるやかな”出会いの場を作ります。 “まちなかの小さな菜園”での収穫物をレストランに提供したり、地域のイベント等に活用するなど、住民主体の経済活動・まちづくり活動の取組みを通じて、まちの活性化を図ります。



# 3. 懇 談

# 懇談の進め方

## 懇談①：第2回部会のとりのまとめ内容の確認 (25分)

当日の懇談の  
進行内容・視点・ポイント

電線類地中化が進めば、に関する意見が集中したが、歩行の安全面、自動車の通行面、防災面、エネルギー供給面などあらゆる面が改善可能との意見が集中していたが、それ以外にも取り組むべきことを協議した。

取組みのタイトルとして適正か、取組み内容として過不足はないか等を確認、必要に応じて修正

### 【テーマの実現に向けた取組み】

取組みの視点(方向性)	取組み内容
(1) 暮らしを支えるインフラの維持・整備	①『(例) 道路の整備』 <ul style="list-style-type: none"> <li>・無電柱化(優先順位をつけて早期着手)</li> <li>・駐輪場は南北側にも確保(東西側は高架下にある)</li> <li>・道路舗装整備(かたがたを平らに、車いす等も移動できる道づくり)→特にバス通りや私道</li> </ul>
(2) 歩行者の安全性確保	②『(例) 防災拠点化、複合化』 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設(児童館、図書館等)の更新→防災拠点化、複合化</li> </ul>
(3) 商店や街並みの保全	①『(例) 建物のルールづくり』 <ul style="list-style-type: none"> <li>・古い商店の防災、補強→補助制度が必要</li> <li>・店を住宅にしない</li> <li>・商店の看板の規制→台風を考慮した防災、景観</li> </ul>
	②『(例) 緑の保全』 <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅地の緑を減らさない→高齢者が手入れすることは難しいので補助の仕組みが必要、小さな住宅にすると緑化する空間がなくなる</li> </ul>
	※ 看板、緑化、敷地分割などが考えられる→厳しさに要考慮
(4) 民間との協力体制づくり	①『(例) 観光資源化』 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ニッポンここのま」 「ニッポン空想計画」が金井公園建物園「昔の商店街の街並み」との連携</li> </ul>

とりのまとめの文言として適正かを確認、必要に応じて修正

まちづくり  
目標

今の暮らしやすさの維持・充実

【旗揚げしたテーマ】

# 懇談の進め方

## 懇談②：部会としてのとりまとめ・整理 (60分)

### 暮らしやすいまちづくり部会の整理

まちづくりの目標	取組みの方向性	取組みの具体的なタイトル 取組み内容	参加者の思い(案)
暮らしやすいまちづくり	今の暮らしやすさの維持・充実	<b>(1) 暮らしを支えるインフラの維持・整備</b> ①(例) 道路の整備 ②(例) 防災拠点化、複合化 (2) 歩行者の安全性確保 ①歩行者の安全性を守るため、自転車のスピード抑制 (3) 商店や街並みの保全 ①(例) 建物のルールづくり ②(例) 緑の保全 (4) 民間との協体制づくり ①(例) 観光資源化	無電柱化やバリアフリーなどの道路整備、駅前駐車場の整備、児童館や図書館などの既存の公共施設等の機能更新や充実を図り、暮らしやすい街の形成を促進します。 自動車及び自転車の運転マナーの向上や歩行者が歩きやすい道路環境をつくれます。 古い良き街並みを保全するためのルールづくりを検討します。 来訪者が街並み散策を楽しめるように地域資源の整理や情報発信等を行います。
	コミュニティによる安心づくり	(1) 誰もが安心して過ごせるまちづくり ①座れる場づくり ②段差の少ないまち ③交通 (2) みどり豊かな良好な住環境の保全・育成 ①軸となるみどり ②にぎわいとしてのみどり ③まちなかのみどり	誰もが安心して過ごせるまちの観点から、歩行空間のバリアフリー化や誰もが座れるベンチの設置に取り組みます。 みどり豊かで良好な住環境を保全・育成するため、軸のみどりとなる街路樹の設置、にぎわいのみどりとしての公園の整備、壁面・接道部の緑化などによるまちなかみどりの育成に取組みます。
	空き家(室)・空き店舗の活用	<b>(3) 地域住民のコミュニティ促進</b> ①くつろげる場づくり ②情報発信・共有 (1) 情報を集約するプラットフォームづくり ①ロコミ ②『まちかど掲示板』の設置 (2) 空間(部屋、建物、土地)の有効活用 ①マルシェ ②まちかど休憩所 ③NPOなどの活動拠点 ④シェアオフィス ⑤子育て世代など多世代を対象とした多目的スペース ⑥留学生向け下宿	まちなかに交流空間を設けることで、地域住民が顔を合わせる機会を増やします。 空き家、空地、空き店舗を有効に活用するための情報提供・有を行うプラットフォームづくり(SNSの活用、街かど掲示板の設置など)を促進します。 駅周辺の空間、空いている店舗等を活用しながら、人が集まる拠点を創出し、まちのにぎわいづくりを進めます。 ※ まちなか菜園としての活用 → 「空き地の活用」へ
	空地・空きスペースの活用	(1) まちなかの小さな菜園づくり ①空きスペースの活用 ②街なか菜園としての活用 <b>(2) ゆるやかなコミュニティづくり</b> ①(例) 参加意識の醸成 (3) シビックエコノミー ①(例) シビックエコノミーの取組み	まちなかにおいて使われていない空き家の庭や道路沿いの空きスペースなどを活用して、空きスペースを借用し野菜や果物などを育てたい人を募ることで、まちなかの小さな菜園としての活用を図ります。 “まちなかの小さな菜園”を通じて、子どもたちの農業体験やえ・教えらるる関係を通じた交流づくりなどにより、地域でお互い知る“ゆるやかな”出会いの場を作ります。 “まちなかの小さな菜園”での収穫物をレストランに提供したり、地域のイベント等に活用するなど、住民主体の経済活動・まちづくり活動の取組みを通じて、まちの活性化を図ります。

取組みのタイトルを表現する文章として適切かなどを意見交換し整理

似ている取組み内容のとりまとめ方について意見交換し整理  
 ・統合するのか  
 ・取組みの視点で差別化するのか  
 など

# 懇談の進め方

## 〔とりまとめ内容の確認〕

整理されたとりまとめ内容を全員で確認します。

### 暮らしやすいまちづくり部会の整理

まちづくりの目標	取組みの方向性	具体的な取組み内容	取組み内容
暮らしやすいまちづくり	今の暮らしやすさの維持・充実	(1)暮らしを支えるインフラの維持・整備 ①(例)道路の整備 ②(例)防災拠点化、複合化 (2)歩行者の安全性確保 ①歩行者の安全を守るため、自転車のスピード抑制 (3)商店や街並みの保全 ①(例)建物のルールづくり ②(例)緑の保全 (4)民間との協体制づくり ①(例)観光資源化	無電柱化やバリアフリーなどの道路整備、駅前駐輪場の整備、児童館や図書館などの既存の公共施設等の機能更新や充実を図り、暮らしやすい街の形成を促進します。 自動車及び自転車の運転マナーの向上や歩行者が歩きやすい道路環境をつくれます。 古い良き街並みを保全するためのルールづくりを検討します。 来訪者が街並み散策を楽しめるように地域資源の整理や情報発信を行います。
	コミュニティによる安心づくり	(1)誰もが安心して過ごせるまちづくり ①座れる場づくり ②段差の少ないまち ③交通 (2)みどり豊かな良好な住環境の保全・育成 ①軸となるみどり ②にぎわいとしてのみどり ③まちなかのみどり (3)地域住民のコミュニティ促進 ①くつろげる場づくり ②情報発信・共有	誰もが安心して過ごせるまちの観点から、歩行空間のバリアフリー化や誰もが座れるベンチの設置に取り組みます。 みどり豊かで良好な住環境を保全・育成するため、軸のみどりとなる街路樹の設置、にぎわいのみどりとしての公園の整備、壁面・接道部の緑化などによるまちなかみどりの育成に取組みます。 まちなかに交流空間を設けることで、地域住民が顔を合わせる機会を増やします。
	空き家(室)・空き店舗の活用	(1)情報を集約するプラットフォームづくり ①ロコミ ②『まちかど掲示板』の設置 (2)空間(部屋、建物、土地)の有効活用 ①マルシェ ②まちかど休憩所 ③NPOなどの活動拠点 ④シェアオフィス ⑤子育て世代など多世代を対象とした多目的スペース ⑥留学生向け下宿	空き家、空地、空き店舗を有効に活用するための情報提供・共有を行うプラットフォームづくり(SNSの活用、街かど掲示板の設置など)を促進します。 駅周辺の空間、空いている店舗等を活用しながら、人が集まる拠点を創出し、まちのにぎわいづくりを進めます。 ※ まちなか菜園としての活用 → 「空き地の活用」へ
	空地・空きスペースの活用	(1)まちなかの小さな菜園づくり ①空きスペースの活用 ②街なか菜園としての活用 (2)ゆるやかなコミュニティづくり ①(例)参加意識の醸成 (3)シビックエコノミー ①(例)シビックエコノミーの取組み	まちなかにおいて使われていない空き家の庭や道路沿いの空きスペースなどを活用して、空きスペースを借用し野菜や果物などを育てたい人を募ることで、まちなかの小さな菜園としての活用を図ります。 “まちなかの小さな菜園”を通じて、子どもたちの農業体験や教え・教えられる関係を通じた交流づくりなどにより、地域でお互いを知る“ゆるやかな”出会いの場を作ります。 “まちなかの小さな菜園”での収穫物をレストランに提供したり、地域のイベント等に活用するなど、住民主体の経済活動・まちづくり活動の取組みを通じて、まちの活性化を図ります。

## 4. とりまとめ内容の確認

## 5. 次回の予定

# 6. 閉 会